保・幼・小子育て連絡協議会のこれまでの取組み

<table>
<tr><th>年度</th><th colspan="2">概要</th></tr>
<tr><td rowspan="2">平成 12 年
(2000 年)</td><td colspan="2">協議会を通じて、保育園、幼稚園、小学校が訪問可能日を設定して、職員がお互いに訪問しあう「施設訪問研修」を実施しました。
また、学級崩壊やいじめを、就学前におけるしつけや教育の視点から話し合う、シンポジウムを開催しました。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">保育、教育に関わることをテーマに、市民講座を開きました。</td><td>市民講座
講演 「幼児期からの心の教育」 昭和女子大学大学院教授 岸井 勇雄氏
シンポジウム「子どもたちのために、今私たちは・・・」</td></tr>
<tr><td>平成 13 年
(2001 年)</td><td>市民講座
ビデオ上映「子どもの声に耳をすませて」
講演 「虐待防止 あなたにできること」 青山学院大学教授 庄司 順一氏</td></tr>
<tr><td>平成 14 年
(2002 年)</td><td>市民講座
講演 「テレビゲームと子どもの痴呆～ふれあい遊びが脳を育てる～」
日本大学教授・同大学院教授 森 昭雄氏
ふれあい遊び 創作遊び作家 たにぞう（谷口 國博）氏</td></tr>
<tr><td>平成 15 年
(2003 年)</td><td>市民講座
講演 「だれが子どもを育てるの？～家庭と地域の役割と連携～」
東京大学大学院教育学研究科教授 汐見 稔幸氏</td></tr>
<tr><td>平成 16 年
(2004 年)～</td><td colspan="2">保・幼・小で扱われる、子どもの問題点を共有していこう、ということから、地域ごとのブロック単位で会議を行い、年 1 回報告会と、保育・教育に関する講演会を開催しました。（報告会・講演会資料参照）</td></tr>
<tr><td>平成 17 年
(2005 年)
～
平成 19 年
(2007 年)</td><td colspan="2">「保育園・幼稚園から小学校へ送る連携シート」について検討を進め、平成 19 年度にはシート作成プロジェクトを設置し、同年度内に実用化を実現しました。</td></tr>
<tr><td>平成 24 年
(2012 年)</td><td colspan="2">保育園・幼稚園から小学校へ入学する際の円滑な接続を目指し、「ジョイントプログラム・カリキュラム」の研究を課題にし、協議会やブロック会議で話し合いました。</td></tr>
<tr><td>平成 26 年
(2014 年)</td><td colspan="2">保・幼・小連携をより一層推進するため、「保・幼・小連携の日」を設定し、教職員同士の意見交流を試行実施。7 園・6 校の交流をスタートさせました。</td></tr>
</table>

平成 27 年 (2015 年)	「保・幼・小連携の日」の施行実施を拡大し、17 園・16 校・2 学童保育所で教職員同士の交流を行っています。
平成 28 年 (2016 年)	「保・幼・小連携の日」を、市内 51 小学校を中心とした 49 チームにおいて実施しました。
平成 29 年 (2017 年)	「保・幼・小連携の日」を、市内 69 小学校を中心とした 67 チームにおいて実施しました。
平成 30 年 (2018 年)	園や小学校・学童保育所等が相互に連携し、共通した考えをもって連携の推進に取り組めるよう、連携の基本目標を定めた「八王子市　保・幼・小連携の推進に関するガイドライン」を制定しました。
令和元年 （2019 年）	幼児教育・保育施設と小学校とのスムーズな接続のため、八王子市教育委員会が作成した、保・幼・小連携カリキュラム（八王子モデル）を普及・促進させました。
令和 2 年 （2020 年）	新型コロナウイルス感染症が発生し、第 1 回・第 3 回の協議会は中止としましたが、幼児教育・保育施設、小学校等合同による研修会の開催や、就学支援シートなど先進的な取り組みを継続して行ないました。
令和 3 年 （2021 年）	第 1 回・第 3 回の協議会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催としました。就学支援シートについて、役割や取り扱い方法等について再確認しました。
令和 4 年 （2022 年）	コロナ禍における新たな連携の手法として、保・幼・小連携の日や園児・生徒との交流について、ウェブ開催等の試みが見られました。
令和 5 年 （2023 年）	就学支援シートの利用促進のため、より親しみやすいネーミングとなるよう、その名称について協議会の中で検討しました。